

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示しているのをご参照ください。</p>	良くなっている	<p>ほんの少しですが、よくなっています。輸出数量の3か月平均が上向き、求人倍率が上昇し、エネルギー以外の物価が継続して1%以上に上昇、しているという証拠があります。ただ、展望はまだ不透明です。原油価格が上がらないのもプラス要因。</p>
「経済・財政一体改革」に向けた取組			
2	<p>改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。</p>	-	<p>上記のKPIの内容では到底足りない。経済成長、財政再建、人口動向という三つの目標を、税制改革、財政歳出の再配分と抑制、異次元規制改革という三つの道具で取り組むべき。小生のモデル計算は次のKPIを示唆する: 税制改革は、消費税率を12%にあげ、特別税制措置を廃絶して法人税率を25%以下に下げること。歳出は、高齢者向けの割合を6割以下、現役および若者向けを少なくとも4割にしながら、歳出総額を約1割削減(実質GDPベースで今の125兆円から110兆円へ)、規制改革によって、設備投資をGDP比で約1.5%ポイント上昇させ、消費の自己責任の分を増やす。</p>